

令和2年度

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」 (九州・沖縄ブロック)



主催 宮崎県、文部科学省

日時 **令和3年1月23日(土)** 10:00~16:00

一般参加の方々は、すべて**オンラインでの参加**となります。

※ Zoomウェビナーを使用したライブ配信

大会テーマ



「誰もが、共に学び、生きる社会」を創るために、 私たち一人一人にできること

障がいの有無によって分け隔てられることなく、誰もが生涯にわたって楽しみや生きがいのある生活を追求できる社会、誰とでも学び合うことができる社会を創るために、私たちはそれぞれの立場で何ができるのでしょうか。実践発表やトーク・セッションをもとに、「学校卒業後の障がいのある人の生涯学習」の充実について、参加者の皆さんと共に考える1日にします。

プログラム

10:00-10:15	オープニング	
10:15-10:45	障がいのある人の生涯学習・推進施策	文部科学省の取組（障害者学習支援推進室） 宮崎県の取組（教育庁生涯学習課）
10:55-12:00	実践発表Ⅰ	霧島おむすび自然学校（宮崎県小林市） 株式会社グローバル・クリーン（宮崎県日向市）
12:00-13:00	福岡・長崎・宮崎各県から様々な取組の紹介（動画配信等）を行う予定です。	
13:00-13:40	実践発表Ⅱ	長崎大学医学部保健学科（長崎県）
13:50-14:30	実践発表Ⅲ	福岡市手をつなぐ育成会保護者会（福岡県）
14:40-15:40	トーク・セッション	テーマ「障がいのある人が地域で学び続けるために」
15:45-16:00	クロージング	総括 （九州大学大学院人間環境学研究院 教授 岡幸江氏）

実践発表、トーク・セッションの詳細は、裏面を御覧ください。

参加申込方法

受付期間：令和2年12月14日～令和3年1月14日まで（参加無料）

* 右のQRコードまたはURLから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

【URL】 <https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/zhroQkla>

* 参加申込時にメールアドレスを登録してください。開催日までに当日に向けた連絡事項（ID、パスワード、接続方法等）をメールによりお知らせします。



*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

- 参加にあたっては、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 通信環境によって配信の状況が異なることがあります。また、利用する回線の契約プランに通信容量制限や速度制限がある場合は、通信の遅延や通信料の追加等が発生する場合がありますので、御注意ください。
- すべてのプログラムで、障がい（聞こえにくさ）に配慮した配信を行う予定です。
- 参加申込時にいただいた個人情報は、本コンファレンス以外の目的には使用いたしません。

お問合せ

宮崎県教育庁生涯学習課 中野
(TEL) 0985-26-7245
(FAX) 0985-26-7342

こちらにも情報を
掲載しています

みやざき学び応援ネット
新生涯学習総合情報提供システム

(宮崎県生涯学習課
ウェブサイト)

<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp>

実践発表Ⅰ (10:55~12:00)

宮崎

霧島おむすび自然学校 発表者 事務局長 壹岐 博彦 氏

「野外活動の楽しさと学びと共いきいきライフ」

障がいのある人たちとの数年間にわたる野外での体験活動の成果を、学齢期の子どもや職業的生活を送る成人の体験時の様子とその変容を通じて振り返る。さらに、今後の活動の継続に向けた取組について述べる。



株式会社グローバル・クリーン
http://globalclean.co.jp

発表者 代表取締役社長 税田 和久 氏

「プロフェッショナル清掃から“働きがい”を！」

8年前、「宮崎クリーン部会」として、プロフェッショナル清掃をチャレンジド（障がい者）で実現する勉強会をB型2事業所で開始し、現在7事業所まで拡大。「働きがい」を感じてもらおうプロ清掃の仕事づくりを紹介する。



実践発表Ⅱ (13:00~13:40)

長崎

長崎大学医学部保健学科 (長崎県)

http://www2.am.nagasaki-u.ac.jp/jissen-kenkyu/index.html

発表者 長崎大学医学部保健学科教授 田中 悟郎 氏
ピアサポートみなと副代表 片岡 史和 氏
ピアサポートみなと運営委員 冨永 遼子 氏

「仲間とともに」

長崎大学医学部保健学科は、2018年度から文部科学省の委託事業として、発達・精神障がい者を主対象に生涯学習活動を実践している。本事業の基本理念は、「経験のある専門家」及び当事者との共同創造である。



実践発表Ⅲ (13:50~14:30)

福岡

福岡市手をつなぐ育成会保護者会 (福岡県)

https://www.fiku.jp/hogoshakai/index.shtml

発表者 コーディネーター 米倉 裕子 氏

「儘でいい！儘がいい！超参加型音楽活動MLAPの実践報告」

ダイバーシティからインクルージョンへ！バウンダリーからの解放感を体験しながら誰でも誰とでも楽しく学べるやみつき必死の超参加型音楽活動MLAPの3年間の実践報告と、ネクストステージに向けてのパラダイムを提案する。



トーク・セッション (14:40~15:40)

テーマ「障がいのある人が地域で学び続けるために」

コーディネーター 九州大学大学院人間環境学研究院 教授 岡 幸江 氏

専門は社会教育学。埼玉大学准教授、九州大学准教授等を経て、2021年より現職。福祉をはじめとする生活問題に向き合う人々の学習やその基盤としてのボランティア・NPOへの研究関心にはじまり、現在は地域振興や地域教育、農ある暮らしに学ぶことなど、インフォーマル教育としての学びの場づくりに関心を広げている。

登壇者 障害者自立応援センター YAH! DOみやざき 当事者スタッフ 新坂 真子 氏

1997年生まれ。特別支援学校卒業後、就労移行支援事業所を経て、現在、障害者自立応援センターYAH!DOみやざきの当事者スタッフとして活動している。一人暮らしを目標に猪突猛進中！！

子どもと家族・関係者の集まり ポン太クラブ 会長 外山 明美 氏

子ども3人の母親で次男は自閉症スペクトラム・知的障がい。平成18年ポン太クラブを立ち上げ、様々な活動を行っている。都城市障害者施策推進協議会委員、元宮崎県立都城きりしま支援学校PTA会長、保育士、メンタルケア心理士®。 http://ponta-miyazaki.sakura.ne.jp/

宮崎県立小林こすもす支援学校 主幹教諭 福崎 正浩 氏

中学校から教員生活をスタートし、県内各地の特別支援学校勤務を経て、現在に至る。進路指導担当13年目。その間、関係機関と協働して、多岐にわたる職場開拓や卒業生のフォローアップに携わり、職業生活や社会生活に関する個別の対応を行ってきた。現在も、障がい者の自立と社会参加に向けた支援を行っている。

